

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校特別支援学級整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	58
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	特別支援学級の教室増設に向けた整備を行う。
事業内容	エアコン及び流し台の設置など、一般教室から特別支援学級の教室として必要な改修を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年度に東部中学校において一学級増設のための整備を行った。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	改修教室数				1 室	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
対象となる生徒の人数によって教室数の増減が発生するため、事案が発生した場合に整備していく必要がある。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			2,219,480
事業費(b)(円)			1,279,800
うち一般財源			1,279,800
職員給与費(c)(円)			939,680
人役・職員(人)			0.14
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	特になし	③取組の課題	特になし
②今年度(H29)に実施した取組	使用開始時期までに改修を行う。	④今後(H30以降)の改善計画	特になし